

第 18 回 旧 R D 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 28 年 12 月 22 日（木）19：00～20：35

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑

1. 前回の開催結果の確認について

◇質問無し。

2. 平成 28 年度第 2 回モニタリング調査結果について

◇質問無し。

3. 二次対策工事等の進捗状況について

◇底面排水管の孔は小さく、少ないのでは？孔の直径、数は？また、管の下側にも孔があるのか？

→孔は直径 20mm、管上側 240° かけて 9 個あり、管下側にはないと回答しました。また、管の延長により異なりますが、浸透水が流入する孔の面積は、底面排水管（内径 800mm）を流れる面積の 5～10 倍くらいあるので問題ないと判断していると答えました。

◇アスベストは、他のところはなかったか。

→今回の見つかった箇所は、周辺やその下を掘削して、これ以上ないことを確認していますと回答しました。

◇ドラム缶は、D 工区の奥側にも埋まっているのではないかと？

→今回発見されたドラム缶は、平成 17 年度および平成 19 年度に調査された区域に隣接する区域で、ドラム缶埋立てが疑われる区域から出てきたものがほとんどです。今後、この区域は奥側に掘削していきますので、注視し、発見すれば適切に処理をしますと回答しました。

◇硫化水素の検出については、栗東市への報告が 10 日以上過ぎた後と聞いている。情報提供が遅れた理由は？

→いずれかの時点で情報提供すべきと考えていたが、作業環境および周辺環境に影響ない検出レベルであり、推移を見ていたためであり、今後はもっと速やかにお知らせますと回答しました。

◇知らせるといえるのは具体的にどのような方法で？

→今回の硫化水素検出の件では、工事情報に掲載し、各自治会長に配布するときに、県から口頭でも経過を説明しました。また、栗東市に対しても市役所に出向いて資料と共に状況を説明していますと回答しました。

◇硫化水素の発生原因はなにか？

→今回は、硫化水素が土とか、周りのゴミからではなく、斜面の法面から滲み出した浸透水から発生していると考えている。その発生源は浸透水のものとところがまだ確認できないので分からないと回答しました。

◇経堂池の農業用水を、実際に使うとなるといろいろな費用が出てくる。RDが原因でこのようなことになったものであり、県なり市なりで対応してもらえないか？

→この件については、何回かご要望いただいておりますが、県では対応できないとお答えしています。農業サイドのほうで何か制度がないか、その方面の部署にご相談いただきたいと回答しました。

4. 工事の施工方法について

◇沖積層が見つかったのはいつ頃か？

→沖積層があることは過去のボーリングで分かっていたが、今回実施したボーリングで沖積層の硬軟、また想定より厚く分布していることが分かりましたと回答しました。